

# 令和7年度 第3回学校運営協議会 要旨

日時: 令和8年(2026年)2月13日(金) 11:00～12:30

場所: 北海道真駒内養護学校 会議室

## 1. 開会・校長あいさつ

- 中学部3年生は全員希望の学校に合格。高等部3年生は卒業式まで残りわずかとなり、一日一日を大切に過ごしている。
- 今年度の振り返りと学校評価の結果、それらを踏まえた次年度の学校経営方針について説明し、地域に開かれた学校づくりに向けた意見を頂戴したい。

### ～授業参観～



## 2. 令和8年度学校経営方針案説明(校長)

- 重点目標: 今年度は「一人一人のウェルビーイングの向上を目指した学校経営の推進」とし、子どもたちの自己肯定感や幸福感の追求と同時に、教職員が「働きたい」と思える環境づくりを重視してきた。
- 検討プロセス: 「学校運営懇談会」にて、子どもたちの強みを「笑顔、素直さ、人と関わる力」と再確認。全教職員によるワークショップ(ブレイン・ライティング法)を実施。AI分析の結果、ウェルビーイング向上には「達成感・成長の実感」「情緒的な満足」「学習意欲」「安心できる環境(心理的安全性)」が不可欠であると導き出された。
- 次年度の展開: 「学校経営の推進」から一歩踏み出し、具体的に「教育活動(子どもの活動)の推進」に焦点を当てる。「チーム真駒内」として一丸となり、子ども中心の授業づくりを進める。「Keep on Smiling!!! (いつも笑顔で)」を継続。

## 3. 熟議

### 【T委員】

- 医療の立場から参観したが、目標に対し非常に前向きな姿勢を感じた。
- 生徒だけでなく、職員のウェルビーイングにも重点を置く方向性は非常に良く、来年度も継続してほしい。

### 【T委員】

- 授業参観のポスターセッション形式は、生徒が自発的に交流できる形になっており、非常に有効だった。
- 学部を越えた先生方のディスカッションは研鑽の場として素晴らしく、得意分野を持つ先生と情報を共有できることは大きなメリットである。

#### 【Y委員】

- 地域役職を退くことになったが、学校への花の寄贈については、今後も継続できるよう道筋を立てておく。直接動くのは最後になるが、引き続き支援したい。

#### 【N委員】

- 音楽に取り組む子どもたちの表情が印象的だった。
- 学校の情報を発信するだけでなく、教員が一市民として地域を知ることも重要。卒業後の事業所等へ実際に足を運ぶなど、人の繋がりを学校に還元していく動きを強めたい。

#### 【K委員】

- 卒業を控えた生徒の高揚感に触れ、元気をいただいた。事業所への先生方の来訪は大歓迎である。
- 経営方針に関連して、支援計画を立てる際は「支援者側の考え」が強くなりすぎないように注意が必要。本人の望みや自己実現を丁寧に読み取ることが、学校・事業所共通の課題。

#### 【K委員】

- 校外学習や学習のねらいについて、専門用語を避け、地域住民や保護者にも伝わる「優しい言葉」で発信してほしい。卒業までにどのような力が身につくか可視化されることが望ましい。
- 「心理的安全性」については、単なる仲の良さではなく「子どものために専門的立場から意見を言い合える関係」であることを職員間で再定義し、共有してほしい。

### 4. 閉会挨拶・まとめ(校長)

- 委員の指摘どおり、共通言語としてその中身を理解し合うことが、教職員の意欲向上と子どもの楽しさに直結すると確信した。
- 長年支えていただいた地域委員の方々に深謝する。
- 頂いた意見は、年度末の反省および次年度の教育課程編成に反映させ、学校全体の質向上に繋げていく。

